

近年海外では、街中にある鳥たちを観察する「アーバン・バードウォッチング」をする人が増えているようです。甲突川を中心とした、ここ鹿児島市街地でもさまざまな鳥と出会えます。みなさんもおさんぽのときなどに街中で野鳥を見つけてみませんか？



## ものさし鳥

街中でよく見かける下の4種は「ものさし鳥」といわれています。ものさし鳥を基準にして、野鳥観察のときに見つけた鳥がどのくらいの大きさか記録しておく、その後図鑑などで調べるときに役に立ちます。



## 川・海で見られる鳥

<p><b>カワセミ</b></p> <p>スズメより大きい</p> <p>大きなクチバシをもち、水中にダイブして魚を捕る。空気抵抗の少ないクチバシの鋭い形をヒントに500系新幹線の先頭のデザインになった。</p>	<p><b>カモ類</b></p> <p>マガモ・コガモ・カルガモ等数種見られる。マガモの雄は青首とも呼ばれるアヒルの祖先。カルガモは渡りをせず、身近にいるカモ？甲突川でもよく見かける。</p>	<p><b>サギ類</b></p> <p>アオサギ・コサギ・ゴイサギ等数種見られる。アオサギは日本最大のサギ類で、ツルと間違われやすい。大きな翼をゆっくり羽ばたいて飛ぶ姿は優雅。</p>	<p><b>カワウ</b></p> <p>大型の水鳥、全身ほぼ真っ黒！足は体の後方にあり、泳ぎも潜水も達人にこなす。「河の鱈」</p>	<p><b>カモメ類</b></p> <p>ユリカモメ・セグロカモメ等数種見られる。冬の河口などに群れていて何でも食べる海辺の掃除屋さん！</p>	<p><b>カツオドリ</b></p> <p>顔の色がオスは青色、メスは淡黄色。高い空から見事なダイブで魚を捕る！漁師にこの鳥が群がると鯨がいると見なされたことが名前の由来らしい。</p>
---	---	---	---	---	--

### もうさんらい 猛禽類

見上げてみよう。

**ミサゴ**  
急降下して魚を足で掴む。全国的には数が減っているが、鹿児島ではよく見られる。

**トビ**  
ピーヒョロロ  
生きた動物を襲うことは少なく、魚や死んだ動物などを食べる自然界の掃除屋さん。ゆっくりと羽ばたく。

細長い翼に短い尾、お腹が白く、

写真提供・取材協力  
 ・NPO法人くすの木自然館  
 ・日本野鳥の会鹿児島  
 ・松成 隆志 氏  
 ・鹿児島市役所

ご協力いただいた皆様の詳細はコチラ  
 NPO法人くすの木自然館  
 日本野鳥の会鹿児島

## ツバメの今と昔

—地球温暖化を考える—

**【ツバメ】**  
 額と喉が赤色をしている。九州より北で夏鳥として繁殖するが、越冬例もある。さえずりは「虫食って土食ってしぐーい」と言っているように聞こえる。

みなさんはツバメと聞くと、どの季節を思い浮かべますか？日本野鳥の会鹿児島の方に話を伺ったところ、1990年ごろにはすでに鹿児島で越冬したツバメが確認され、一年中見ることができたそうです。また、2008年には鬼怒川周辺で越冬したと思われるツバメが確認されたという報告もあります。地球温暖化によってエサとなる虫を冬でもとることができ、冬鳥の越冬地がより北になり、夏鳥が冬になっても南の方に帰らなくなる可能性が指摘されています。鹿児島にはツルをはじめ多くの冬鳥が飛来しますが、今後地球温暖化が進めば、こういった鳥たちは鹿児島では見られなくなるかもしれません。



## 未来館周辺でも見られる鳥

<p><b>ヒヨドリ</b></p> <p>ヒヨヒヨ</p> <p>ムクドリより大きい</p> <p>グレーでほっぺが赤い。甘い花の蜜や果実が大好き。庭の花を食べ散らかすため、嫌われることもあるが、花粉を運ぶ役割を担っている。(=「鳥媒花」)</p>	<p><b>インヒヨドリ(オス)</b></p> <p>※メスはグレー色</p> <p>ムクドリより大きい</p> <p>青くマお腹はオレンジ</p> <p>名前の通り海辺の鳥だったが、徐々に都市で生活するようになった。美声の持ち主。あまり警戒心は強くない。害虫を食べてくれる益鳥。</p>	<p><b>ウグイス</b></p> <p>ホーホケキョ</p> <p>鳥の鳴き声を人間の言葉に当てはめて聞くことを「聞きなし」と言う。ウグイスの聞きなしは「法華経」。春にホーホケキョのさえずりがおなじみの鳥。</p>	<p><b>エナガ</b></p> <p>飛くてぶさぶさ、小さいアイドル</p> <p>動きが速く見つけるのが難しい。しっぽの長い姿を柄の長いひしゃくに例えたのが名前の由来。群れていることが多い。</p>	<p><b>シジュウカラ</b></p> <p>スズメより大きい</p> <p>黒ネクタイをしているみたい</p> <p>未来館の巣箱にも巣作りする身近な鳥。単語(鳴き声)を組み合わせる文章を作るという高度なコミュニケーションをしていることが研究で明らかに。</p>	<p><b>メジロ</b></p> <p>黄緑色で、目の周りが白いから「メジロ」。ペアで行動することが多い。色の印象から「ウグイス」と間違われやすい。仲間同士でびったりくっついて休む姿が「目白押し」の語源。</p>	<p><b>ハクセキレイ</b></p> <p>寒い時期に未来館の駐車場で尾を振りながら歩いている鳥。街中でも見かけるが、元々は水辺の鳥。セキレイの仲間には他に、キセキレイ(川の上流)セグロセキレイ(川の中流)がいて、上手に住み分けをしている。</p>
---	---	---	--	---	---	--